

発泡スチロール(EPS)断熱材は30年間の 暴露試験設備においても断熱性能を維持

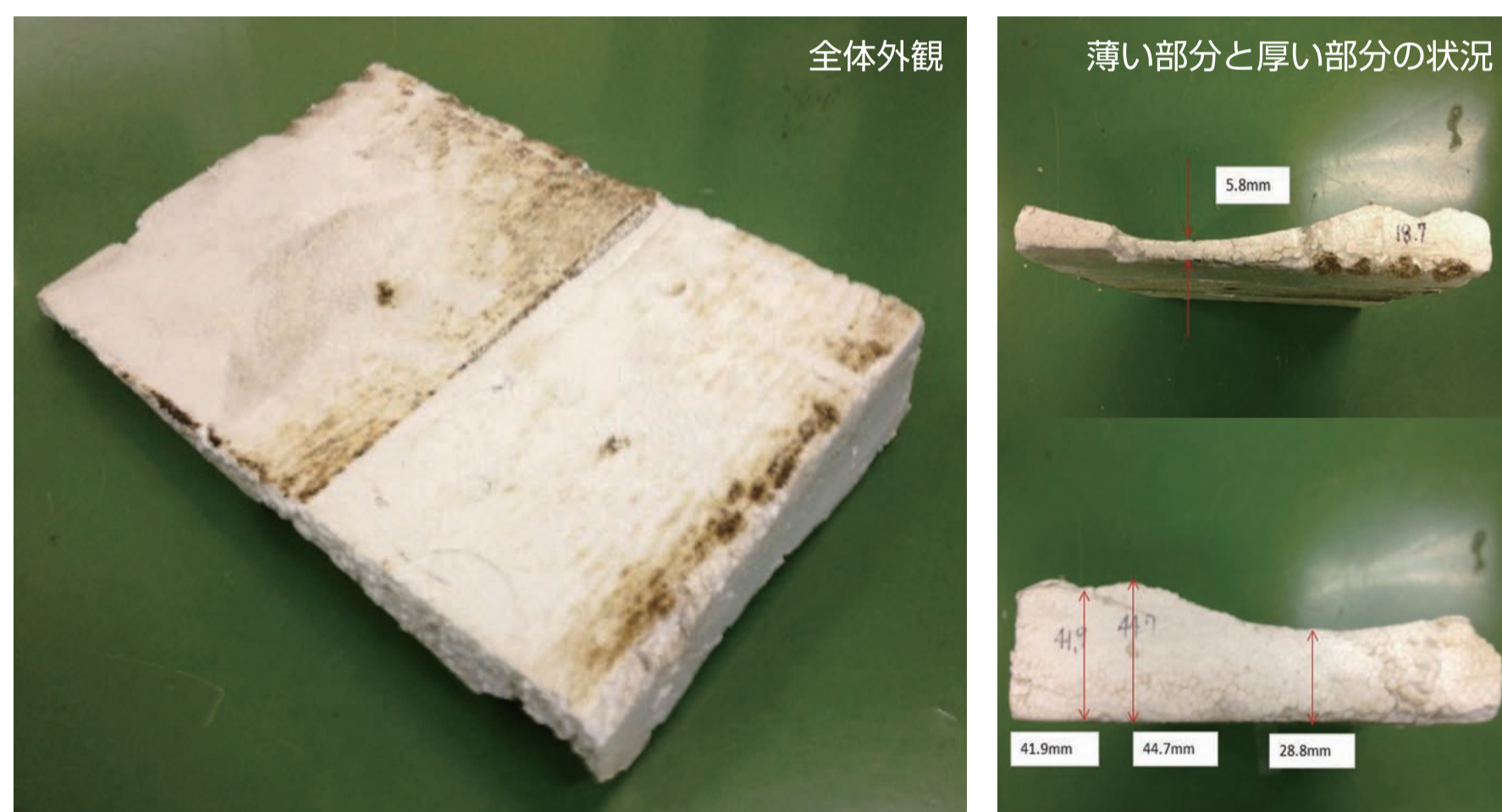
独立行政法人 建築研究所（茨城県つくば市）に30年前に設置された屋根暴露試験設備の解体を行ったところ**発泡スチロール (EPS) の金属屋根下地断熱材**が見つかりました。採取したサンプルを試験測定し、その数値を製造当時のJIS規格値と比較した結果、瓦下地として30年間使用された材料であってもほとんど劣化していないことがわかりました。

金属屋根暴露試験設備の解体



写真(左) 提供: 通気下地屋根構法の設計施工要領作成TG

金属屋根暴露試験設備に使われていたEPS



熱伝導率および圧縮強度の試験結果と製造当時の規格値

	試験体	回収サンプル	JIS規格値 (JIS A 9511:1984 2号品)
密度(kg/m ³)	1	25	25以上
熱伝導率(W/(m·K))	1	0.034 (測定平均温度23℃) (試験体サイズ 171×171×13.7)	0.037以下 (測定平均温度20℃) (試験体サイズ 200×200×25)
圧縮強度(N/cm ²)	1	18.9	11.8以上
	2	18.9	
	平均値	18.9	